

西条 彫刻家・岩崎さん「水太鼓石」完成

打てば「ポヨン」音色独特

水都と石の ハーモニー

彫刻家岩崎幸之助さん(49) 神奈川県在住。西条市の豊かな水や西条まつりをモチーフに、同市で公開制作していた石彫作品「水太鼓石」がこのほど完成した。依頼したNPO法人「うちぬき21プロジェクト」(宮島明理事長、85人)は「多くの市民に見て触れて楽しんでほしい」と市内の水辺空間への設置を検討している。

公開制作は同NPOを招いた。岩崎さんは毎年主催し、国内外の作家を招いている。10周年となる今年は、石と水を組み合わせて音が出る作品を創作していた岩崎さん

田野上方の丹原文化会館で制作を続けた。完成した「水太鼓石」は高さ60センチ、直径90センチと同45センチの大小2点。表面には直径4センチの穴が数カ所、垂直にくりぬかれている。水深6

12センチの水辺に置いた状態で穴付近を手でたたくと、反響して「ポヨン」「ポヨン」など独特の音色が響く。穴ごとに音程が少しずつ異なるなど、工夫が凝らされている。岩崎さんは「地元の子どもたちがたいたり触ったりして、新しい楽しみを生み出してほしい風土や温かい人情に励まされながら、楽

しく創作できた」と出来栄に満足そう。宮島理事長(67)は「10周年の節目にふさわしい、心に響く作品ができた」と喜んでいる。(今西晋)



完成した「水太鼓石」をたたいて音を楽しむ岩崎さん

ワイドえひめ

開かれる。邦楽の部活動がある県内約20校の36人が参加。合同曲のほか東、中、南予のグループごとの演奏がある。よると、1994年に宇和島市で全国高等学校総合文化祭が開催され、他県の邦楽レベルの高さに刺激を受けた。今年から発表会が始まった。今回で15年

内さん。県内の指導者自ら腕を磨き、生徒への指導充実を図ろうと、翌年から発表会がスタートした。参加無

ら同2時半。琴や尺八の演奏を披露し、最後に「六段の調べ」を全員で演奏する。参加無

(松下和人)

特別公開
社長社宅



る住友金属鉱山の新居浜選鉱場など、校区や周辺の産業遺産をめぐり地域の歴史を学んだ。同校が学年別に実施

WIDE EHIME

漁船の放置やめて

愛南町や県合同パトロール



漁船やプレジャーボートの放置をなくそうと、愛南町放置船対策連絡会議の合同パトロールが21日、愛南町福浦の福浦漁港などであった。パトロールは県や町、宇和島海上保安部、

昭和の趣を残し、国内唯一といわれる社宅群である山田社宅で

掘隊実行委員会が2008年に作製した探検マップに基づき、新居浜南高校情報科学部員らのガイド付きで星越駅舎などを見て回った。